

# “誰にも負けない、退かない” 強い気持ちこそが合格の鍵となる。



**東京大学**  
[理科I類]

三重県 私立  
鈴鹿高等学校 卒業



高校1年の夏、みんなより  
早いスタートだった。

打田くんが大学を意識して学習を始めたのは、高校1年の夏、通っていた塾の先生から「受験の準備として夏の間は全て覚えなさい。」と英単語集を渡されたのがきっかけだった。まだ周りは学生生活を謳歌している頃、最初は「まだ1年なのにな」という思いがあったという。しかし、「先生が言うなら頑張ろう」と奮起し、受験勉強をスタート、そして冬にはプロヨビの受講も開始した。

結果が出ない…。窮地から  
プロヨビが救ってくれた。

最初に受講したのは、小山先生の「センターレベル現代文」だった。現代文だけはどれだけ勉強しても成績が伸びず、一体どうすれば良いのか、本当に途方にくれていたという。しかしこのままでは確実に受験に大きく影響してしまう、そう思い、臆にもする思いで受講を始めた。「正直、初めて小山先生の授業を受けた時は、わかりやすいとは思いつつも本当

に力がついているのか、半信半疑でした。ただ、『とにかく小山先生の言う通りにやってみよう』そう思って勉強を続けていました。そうしたら、直後の模試でいきなり20点も点数がアップしたんです！」

映像のメリットを最大限に  
活かして効率学習！

さらに、一度の受講で確実に身につく「3段階学習システム」による授業も、打田くんの受験勉強の大きな助けになったという。「授業で聞いた内容をすぐに演習できるので、頭に残りやすく、とても効率が良いです。それに演習で解いた問題は、先生が解答だけでなく、解説までしてくれるので、より深く理解することができました。」

気持ちで負けない。強い心で  
挑んだ大学受験。

そうして迎えたセンター本番、「あれだけ勉強してきたんだから大丈夫だ！」という自信があったが、それでもやはり、試験初日は緊張を隠せなかったという。しかし、やはり高校1年から積み重ねてきた努力の賜物なのだろう。打田くんは見事にブレッシャーを跳ね返け、9割近い得点を叩き出し、見事センター試験を突破してみせた。特に苦手だった国語は過去最高点をマークするという大金星を上げた。

そして、その勢いで二次試験も突破し、見事東京大学に合格した。高校1年の頃から地道に積み上げてきた、長きに渡る打田くんの努力が実を結んだ瞬間だった。

誰よりも真摯に受験に打ち込んできた打田くんに、大学受験を勝ち抜く為に必要な事は何かと聞いてみた。「受験が終わって改めて感じたのですが、受験本番で100%の実力を出す為には、いかに気持ちで負けないようにするか、だと思います。腰が引けてたり、弱気になつていては、自分が持っているものを出す事は出来ないんですよね。」

だから、自分のやってきた事に自信を持って下さい。もちろん、その自信の源となるのは、勉強量です。自分はこれだけやった。誰よりも努力した。その気持ちがあれば、強気で挑めるはずですよ！頑張ってください！」



## 打田くんの“イチオシ講座”

### テーマ別攻略 基礎古文 [岡崎]

受験間際で停滞し始めた古文は、センターで得点できなければ意味がない!と考え、あえて基礎的なこの講座を選択しました。

文法や単語を噛み砕く様に丁寧に教えてくれる上、どうしても苦手だった文章題も、岡崎先生がまるで現代の物語のように訳してくれるので、驚くほど簡単に頭に入ってきました。おかげで6割くらいで停滞していた古文が、センター本番では8割を超えました!